

第1回・第2回

(仮称) みんなの夢水路計画づくりに係る
ワークショップを開催しました!



(仮称) みんなの夢水路
計画づくり

ワークショップ 通信

第1号

平成27年11月15日

9月にワークショップの参加者の募集を行い、応募された35名の参加者の方々と、第1回ワークショップを平成27年10月17日(土)、第2回ワークショップを10月31日(土)に開催しました。ワークショップは全4回の開催を予定しており、次回の第3回目からは、より具体的な水路の計画案についての検討を行う予定です。今号では、第1・2回の実施内容をお知らせします。

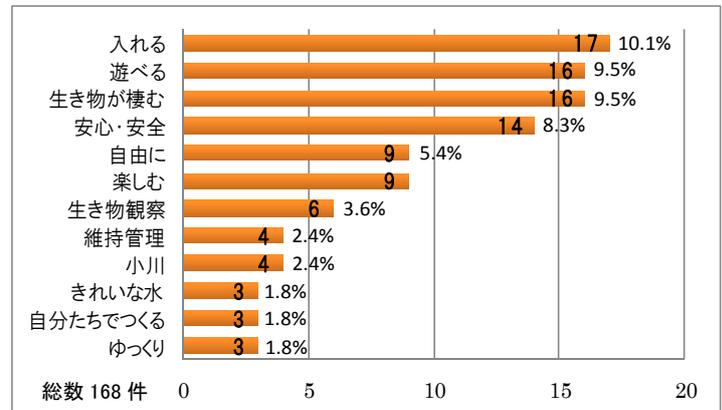
第1回ワークショップ(平成27年10月17日)

第1回目は、井荻小学校児童の皆さんによる、夢水路への思いと地域の人々等へのアンケート結果についての発表後、参加者にどのような水路にしたいのか「夢」を語っていただきました。

みなさんの夢をキーワード化し、多かった意見は以下の棒グラフとおります。

【意見のまとめ】

- ・ 柵を取り払い、安全安心に水と触れ合える場を求めている方が多い
- ・ 水との触れ合い方も、眺めたり、触れたり、生き物観察や遊ぶなど、様々な触れ合い方をあげている
- ・ 中でも、水路の中で遊ぶという意見が多く、小学生以外の高齢者や、親世代からも挙げられていた
- ・ 子どもが遊ぶ水路と生き物の棲む水路を分けた方が良いのではないかという意見もあった
- ・ 自然が多い水路を望まれている意見が多いが、自然を残す、維持する、よくする、昔に戻すなど自然保護を目指す方向性にも違いがあった
- ・ 少数ではあるが、工事や完成後の維持管理を区民の手で行い、継続的な関わり合いの機会の場を求めている意見もあったので、ワークショップ後も区民参加の機会を作る必要がある
- ・ ホタルについては、復活させたいとの声がある一方で、なかなか難しいのではないかという意見もあった
- ・ 少数ではあるが、水路を「小川」と呼ぼうという意見もあった



井荻小学校児童の発表



各グループの発表



進行役のまとめ

第2回ワークショップ（平成27年10月31日）

第2回目は、善福寺公園内の水路で、現況の生物調査等の簡単な結果報告と参加者による現地調査を行いました。現地調査をする際に、「水」「光・みどり」「人」「周辺環境」の視点を持って新たな発見をしていただきました。

各グループの新たな発見は以下のとおりです。

水

- ・ 水はほとんど流れていない
- ・ 上流は、川幅いっぱいの水があるが、水面が見えない
- ・ 中流は川幅が狭く、石があることで水の流れるを感じる
- ・ 水路の上流部は少し臭う
- ・ 水の流れていないところは、泥が溜まる
- ・ 水深 20～30 cm程度

光・みどり

- ・ 明るいところ、暗いところがある
- ・ 緑が多い部分があるので、間引く必要がある
- ・ アカメヤナギ、アカメガシワが川の中にある
- ・ セキショウ、クズが多い
- ・ ヤマブキがあった
- ・ セキショウが多く、多様性が低い

人

- ・ 水路の周辺では、人をあまり見かけない。
- ・ 昼間の利用（散歩、生き物の観察、トイレの利用など）、夜の利用（セミの羽化の観察会など）と多目的に公園を利用している
- ・ ひとり利用の高齢者や、車いす、親子、園児など様々な人々が利用している
- ・ 鳥や魚がいたり、歴史的なもの（銅像など）がある場所には、人が集まる
- ・ 夏は日影、冬は日向と季節によって、人が集まる場所が異なる
- ・ ベンチがある所に人は集まる
- ・ 散歩やジョギング等の利用形態により、人の歩くスピードは異なる

周辺環境

- ・ 木が大きくなりすぎて暗い/植物が多い
- ・ トイレが水路に近い
- ・ 歩道から水路が見えない
- ・ 柵が周辺にある/水路に近づきにくい
- ・ 地面が固い/園路が狭い
- ・ 鳥が多い
- ・ 暗渠が下池に続いている
- ・ 水路際の街灯が明るすぎる



専門家による調査概要の説明



現地調査の様子



グループ発表

第1回、第2回のまとめを踏まえて、第3回目は水路整備案の検討を行います



発行者

杉並区 都市整備部 土木計画課

TEL:03-3312-2111